

令和6年度「平泉古事の森」森林教室を実施しました。

平泉古事の森は、神社、仏閣などの歴史的木造建造物の修復に必要な大径材を育てる長期の森林づくりを通じて、地域の皆さんと協力しながら日本の木の文化を支えていく活動です。

10月29日、奥州市立衣川小学校を訪問し、次代を担う子供たちに平泉古事の森について理解を深めてもらうための森林教室を実施しました。



平泉町職員によるモニター学習では、奥州平泉の文化遺産と木材の関わり、森林の機能及び、森林づくりについて学びました。

その後、当署職員による体験学習では、児童たちがノコギリを使用して小丸太を切る体験、年輪を数えて木が成長するまでの時間の長さを体験する年輪数えを行いました。

中には、一人で複数回丸太切りを行う児童もいて、みんな元気いっぱいの楽しい時間を過ごしました。

今後も活動を継続していきます。



奥州市立衣川小学校の皆さん、ありがとうございました。